人にやさしく
地球にやさしい
大日新聞
34号
大日化成株式会社
〒571-0030　大阪府門真市末広町 8-13
TEL：06-6909-6755　FAX：06-6909-6702
URL：http://www.dainichikasei.co.jp

通気緩衝工法　水分を逃がし防水層の割れ・ふくれを防ぎます

BIGSUN
RX工法

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。

一昨年の総選挙により、長期安定が約束された安倍政権は、アベノミクスで金融緩和と財政出動によりと円安を誘導し、観光輸出産業の振興と海外から客を呼び込む振興を図ってきた。また、世界を股にかけての積極外交で、景気を維持してきたクールジャパンを演出した外交手腕も見事であったと思われます。その反面、イスラム国への対応や、集団的自衛権など、国内の成に、やり過ぎたのではないかと感じる人も多いのではないでしょうか。

一気に不安を呼び、

定が約束された安倍政権は、アベノミクスで金融緩和と財政出動によりと円安を誘導し、観光輸出産業の振興と海外から客を呼び込む振興を図ってきた。また、世界を股にかけての積極外交で、景気を維持してきたクールジャパンを演出した外交手腕も見事であったと思われます。その反面、イスラム国への対応や、集団的自衛権など、国内の成に、やり過ぎたのではないかと感じる人も多いのではないでしょうか。

一気に不安を呼び、

中、福島を含む東北の復興事業、都市部においては、駅前市街地開発など、東京周辺の整備が進むと思われます。

ば、我々の業界に目を転じてみれば、全体の景気が下降気味である中、福島を含む東北の復興事業、都市部においては、駅前市街地開発など、東京周辺の整備が進むと思われます。

ピックに向けて、5年後調の東京オリンピックに向けて、5年後好調な東京周辺の整備は、更に、特に、人当社のメインの不足が、商頭痛資材の高騰と職人さんの手を借りて初めて機能し、職人さんの手を借りて初めて手足を発揮するというものです。

は、ビッグサン塗膜防水は、即、売り上げにも影響を及ぼす事になります。

はつきます。

ません。

心配の種です。

第6回 屋上緑化講演会を開催しました

都市緑化の必要性が重視されるようになり、はや10年以上経過しました。現在までに工場立地法や各地方自治体の建築確認許可を絡めた規制により、随分街中の緑も見直され増えてきたように思いますが、まだまだその質も低く量も少なく、各種課題を残しているのが実状です。

しかし、ただ、忙しいからといって、ヨーロッパのように、海外から無制限に、作業者をどんどん入れるというのもどうかと思われます。少子高齢化で人口減少に向かっている現状で、団地などでは空き家が目立つと、何故か、都市の中心部にタワーマンションが、ミニマンションというミニマンションが、できるとなると得ないこと、理由は、自然のニーズが起こってきます。

本来はあるとい

ばそれ

ば、

日本は、四方を海に囲まれた島国、敵に攻め込まれたり、難民が押し寄せてきたりする危険性は少ない。そのの自然災害、地震や台風などすい国です。

国や行政が真っ先にやらなければならない事は、その対策です。津波や地震の対策を含めての社会資本の整備ではないでしょうか。

これに対し、特に都会の緑化条件に合わせた薄層緑化を中心とした各種都市緑化の発展と正しい緑化のあるべき姿を模索すべく、緑化資材メーカなどが結束し、薄層屋上緑化技術協会を10年前に立ち上げました。協会の啓蒙活動の一環として講演会を開いており、今回第6回を開催いたしました。これまでの実績を評価され正式に国土交通省や大阪府の後援もいただきレベルの高い講演会となっております。

今回も、約100名の聴講希望者にご参加いただき盛況のうちに講演会を行うことが出来ました。当講演会ではリピーターが多く、毎回の講演内容が非常に面白くためになる内容で、大々的な報道・宣伝をせずとも多数ご参加頂いております。地味ではあるけれども身につく講演会として皆様のお役に立っていると考え自負しております。

講演は、基調講演として前田武志参議院議員が諸外国の例等を上げながら、今後の国内での建設全般の中で特に必要とされる省エネ・断熱構造等を考慮実施することにより、温暖化防止を含めて地球環境にもたらす大きなプラス効果を上げつつその必要性を強く訴えられました。

ついで、二見先生より国内では建築物の一部・付属物として考えられていた、ビル周辺街中の外構緑化や屋上緑化・壁面緑化等を、逆に街づくりの原点として捉え、伝統的な英国の例を上げながらヒトが快適に住み、仕事をし、生活する空間をみどりを中心に総合的にデザインすることの重要性を講演いただきました。

富先生からは、ハーブを中心とした香りの効果がもたらす医療効果を上げながら、都市緑化への採用を念頭にフィトセラピー全般について説明があり、生で食べるだけではなく、成分を抽出し実験した成果の発表がありました。

最後に当協会の技術顧問の後藤氏から、最近の都市緑化の施工例として生物多様性を基本にした東京の二子多摩川ライズⅡ-α工区の屋上緑化の写真を中心に具体的に植物種も含めて説明すると同時に、韓国での比較的大規模な屋上・壁面緑化も説明いただきました。

参加者は、都市緑化に携わる関係者の方（役所・設計会社・建設会社・造園業者）が多く、質疑も活発なので講演会の成果が現れるのが楽しみです。

協会での活動は、みどりを増やすこと世の中のためになるということが主旨で、直接ビジネスには反映しませんが、大日化成では会社をあげて世のため人のために役立つことをやり続けてまいります。

大日化成株式会社
代表取締役会長　小林知義

当社は、持続的な社会を目指して、これからも更に、道路や橋梁・下水道など、メンテナンスに必要な、独創的な製品の開発に力を注いでいきたいと思っています。ご愛顧の程、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

こんなところで活躍しています

民間企業ビル屋上（VUS500）

スカイレジン＜下地調整材＞
スカイレジンWE
エポフィラー
プライマーE
EPC－T
水系エポキシポリマーセメントモルタルの新しい形です。
溶剤型塗布材料の下地調整材に最適です！

BIG SUN
＜土木用防水材＞

ポリマーセメント系塗膜防水材

BS・ラピタルエース
＜速硬型軽量プレミックスモルタル＞

コンクリート欠損部の補修に最適なポリマーセメントモルタル

霧ケ峰シリーズ
節電できる壁面緑化を実現！

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び
大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

スタッフ紹介

日頃は営業活動やお電話で応対させていただいておりますスタッフの日常をお伝えいたします。

あけましておめでとうございます。本社営業部の増田と申します。去年の5月に、食品関係の仕事から転職し、入社いたしました。今まで、防水という言葉は、携帯や時計など、電子機器にしか使われているイメージしかありませんでした。

こんなにも色々な場所に防水がされている事が解りに、驚きました。それと同時に、防水をする事の大切さも学びました。

今では、友達の家に遊びに行った時に、ふとベランダがどんな防水がされているのかを見てしまっている自分がいます。ただ、まだまだ防水の種類が塗膜かどうかしか解らず何とかまではよくわかりませんでした。

私の家のベランダ、防水されているかまでは解らず、防水の現場を見させてもらい解る様に勉強して行きたいと思います。

仕事の方は、現在、各先輩と同行した担当の得意先を回ったり現場訪問しました。色々なことを学んだ。入社してから、一人で得意先や半年が経ち、訪問する事務所に、自分の知識不足を感じました。まだまだ多くお客様に、多くの質問をされてもなかなか解らない事が多くあります。

正直、聞くと話をしている事が多く、さらに、単語が飛び交いてしまう事があいました。

スタッフ紹介

本社営業部　増田 傑

こんな私ですが、早く一人前になれるよう頑張りますので、これからも宜しくお願い致します。

今年は、春から始まるリーグを優勝する事を目標に、頑張ります。その為に、ジムに通い体作りをしていこうと思っております。後は、ゴルフにも挑戦して行こうと思います。まだ、始めたばかりですので、打つ事もできませんが練習して行きます。

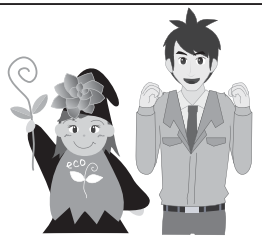
趣味は、小学生の時から続けているサッカーになります。現在も、社会人チームに所属し休みの日は大概サッカーをしています。現役時代は、毎日厳しい練習で嫌になる時もありましたが、今では週に2回出来るサッカーをとても楽しんでやっています。

少しでも早く知識を身に着け、理解し、問い合わせ等に素早く対応できる様に日々精進して行きますので、これからも宜しくお願いいたします。

DAINICHI CHEMICAL CO.,LTD.

● 本社
〒571-0030　大阪府門真市末広町 8-13
TEL：06-6909-6755(代)　/　FAX：06-6909-6702

● 東京支店
〒105-0012　東京都港区芝大門 1-4-14 芝栄太楼ビル 5F
TEL：03-3436-3801(代)　/　FAX：03-3436-3803



次号も
お楽しみに

URL：http://www.dainichikasei.co.jp

Vol.31

映画で学ぶ 環境問題

ジュラシック・ワールド
（Jurassic World）

監督：コリン・トレボロウ
原作：マイケル・クライトン
製作：フランク・マーシャル
　　パトリック・クロウリー
製作総指揮：スティーヴン・スピルバーグ
出演者：クリス・プラット
　　ブライス・ダラス・ハワード
公開：2015 年
配給 ユニバーサル・ピクチャーズ

ご存じスティーブン・スピルバーグが送り出す恐竜映画の「ジュラシック・パーク」シリーズ、久々の第4弾で、映画史上歴代最高の興行収入を誇った作品、それが今回の「ジュラシック・ワールド」です。

物語は、前3作同様に琥珀（化石）からDNAを採取し、遺伝子操作によって生み出した恐竜を見せるテーマパーク「ジュラシック・パーク」が舞台になっています。今回注目すべきは、古代に生息していた恐竜ではなく、新しく人間が作り出した「ハイブリッド」と呼ばれる恐竜「インドミナス・レックス」。この恐竜は、ティラノサウルス・レックスや他の恐竜の遺伝子を組み合わせ、さらにDNAが欠損する部分はコウイカやアマガエルなど現生動物の遺伝子も組み合わせて、人工的に生み出したものです。

そのため、テーマパーク運営側が想定していたよりも、はるかに高い知能と恐ろしいどう猛さを持ち合わせており、非常に危険な生物になってしまいました。そのうえ、人間の悪いクセで「どのような恐竜であっても、人間はコントロールできる」まさに「アンダーコントロール」と宣言し、人寄せパンダのごとくテーマパークの目玉にしたのです。

このハイブリッド恐竜にとって、さらに良くなかったのは生育環境。ただ単なるアトラクションとして生み出された「インドミナス・レックス」は、動物としてではなく金儲けの道具として、成長させるためだけにエサを与えられ、飼育者とのコミュニケーションなどもなく、周囲との社会形成など、まったくないまま成長してしまいました。

要するに、愛情や善悪の判断などない「悪魔」のような存在になってしまったのです。

その怪物が逃げ出してしまったため、2万人の来場者ににぎわっていたパークはパニックに！

最後は一件落着とわかっていても、つい手に汗を握ってしまうスケールの大きい作品です。

さて、本作品と「環境問題」との関連性は「遺伝子組換え」です。昨今、遺伝子組換え食品は珍しいものでは無くなりました。むしろ反対に、日常生活において遺伝子組換えではない食品を探す方が難しいでしょう。たとえば「遺伝子組換えではない大豆を使う」豆腐であっても、実は大豆生育のために使っている土壌や肥料に「遺伝子組換え（GM）」が入り込んでいる可能性はきわめて高いのです。

そしてGM(=Genetically Modified)については、フランスのカーン大学・セラリーニ教授やロシアのイリーナ・エルマコヴァ博士など、国内外多数の大学や研究者が研究をおこなっているのですが、「調べれば調べるほど、危険性が高いと言わざるをえない」としたデータが出てきています。

そのやり玉にあがっているのは、モンサントという多国籍バイオ科学メーカー。以前、本欄でも取り上げたP&G御曹司のフォスター・ギャンブル氏制作の「スライブ（THRIVE）」という映画でも悪い会社として取り上げられていました。

「世界の食糧事情を改善する」を大義に活動を続けるモンサント社と、研究者のデータをもとに同社を批判する環境保護団体は長年、互いに譲らない主張を続けてきましたが、昨今では欧州連合（EU）がモンサント社製品を排除しようとしているなどの報道もでてきているうえ、TPPで日本の農業生産者や生協連が懸念しているのも、実はこのモンサント社を中心とした遺伝子組換え食品や農薬、添加物らしいということで、環境問題が気になる身には、まだまだ気が休まりません。

「遺伝子組換え」が人類や地球にとって救世主になるのか、それとも「ジュラシック・ワールド」の「インドミナス・レックス」のように災いをもたらすのか、今後　長い時間をかけてみないと判断できないのかもしれませんが、少なくとも口にする食品がどういうものなのか、わかりやすい表示が良いのは間違いないことでしょう。